

EDIUS[®] Elite/Pro 7

EDIT ANYTHING

リリースノート

Software Version 7.52b9 (2016 年 3 月版)

Windows 7 でご利用になる場合の重要なお知らせ

EDIUS 7 ではビデオ編集用ハードウェアのドライバーインストールに SHA-2 ハッシュアルゴリズムの証明書を使用しています。Windows 7 で SHA-2 ハッシュアルゴリズムを使用するためには、マイクロソフト社のダウンロードセンターよりセキュリティ更新プログラムをダウンロード、インストールしてください。セキュリティ更新プログラムのインストール後に EDIUS 7 のインストールを行ってください。

対象ビデオ編集ハードウェア

- HDSPARK
- STORM MOBILE
- 当社製ビデオ編集ハードウェアを搭載するターンキーワークステーション (HDWS/REXCEED シリーズ)

*ご利用になる OS が Windows 8/8.1 の場合や、サードパーティー製ハードウェアを使用する場合は該当しません。

SHA-2 ハッシュアルゴリズムの証明書を利用可能にするには、2つのセキュリティ更新プログラムのインストールが必要です。これらの更新プログラムは以下の番号順にインストールしてください。

1. [Windows 7 for x64-Based Systems 用セキュリティ更新プログラム \(KB3035131\)](#)
2. [Windows 7 for x64-Based Systems 用セキュリティ更新プログラム \(KB3033929\)](#)

NOTE: 本バージョンよりセキュリティ更新プログラムがインストールされていない場合は、インストール中にセキュリティ更新プログラムのインストールを促すメッセージが表示されて、インストールが中断されます。メッセージが表示された場合は、セキュリティ更新プログラムをインストールしてから、再度 EDIUS のインストールを実行してください。

機能追加

- HDCAM デッキの CONFI 再生をサポートしました。(HDWS シリーズのみ) (SFDC00506481)

更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

- エクスポートした MPEG1 ファイルにブロック状のノイズが表示される。(SFDC00479298)
- タイトル挿入モードのコントロールパネルで、次/前 のクリップを選択するキーボードショートカットが動作しない。(Elite のみ) (SFDC00493130)
- In 点のみが打たれたタイムラインシーケンスで [In/Out 間の削除] メニューを選択すると、EDIUS が強制終了する。(SFDC00499885)
- EDIUS XRE がインストールされているシステムで、ファイルエクスポート時のレンダリングが常に EDIUS 編集端末で実行される。(Elite のみ) (SFDC00497164)
- AVC LongG クリップの読み込みに時間がかかる。(SFDC00497008)
- 作成した Blu-ray ディスクのチャプター位置がずれる。(SFDC00499214)
- 特定フォーマットのプロジェクトに同じフォーマットのクリップを配置して再生すると映像にブロック状ノイズが表示される。(EDIUS STRATUS 連携のみ) (SFDC00500793)

- プロジェクトに読み込んだクリップの K2 アセットへの登録が遅い。(EDIUS STRATUS 連携のみ) (SFDC00501149)
- タイムラインカーソルをマウスホイールで移動させると、タイムラインの先頭にカーソルが移動する。(SFDC00503810)
- タイトル挿入モードのコントロールパネル操作中に EDIUS がフリーズする。(Elite のみ) (SFDC00503831)
- 特定の MP4 クリップの読み込みに時間がかかる。(SFDC00504299)
- タイトル挿入モード使用中に、タイムラインカーソルより後方の位置に不要なクリップが表示される。(Elite のみ) (SFDC00505704)
- タイトルクリップのレイアウトターに表示されるプレビューにて、タイトルテキストを重ねる映像が透過表示されない。(SFDC00507528)
- 時差編集 MXF クリップが読み込めない。(Elite のみ) (SFDC00509620)
- 上書きモード時のタイムラインクリップのトリム操作が遅い。(SFDC00509871)
- オールドフィルムエフェクトを適用すると、映像の一部に縦線状のノイズが表示される。(SFDC00512680)

既知の不具合

スタビライザーの解析がバックグラウンドジョブとして処理される

- 現象 スタビライザーの解析が常にバックグラウンドジョブとして処理される。
- 回避方法 なし。

プロキシファイルを通常のクリップとして認識する

- 現象 Bin でクリップを選択、「プロキシを作成」にてプロキシを作成した場合、その素材を別プロジェクトで読み込むとプロキシファイルも通常のクリップとして同時に読み込まれる。
- 回避方法 なし。

書き出した XAVC S ファイルの再生が途中で停止する

- 現象 タイムラインを XAVC S ファイルとして出力したものをカメラ等で再生すると、再生が途中で停止することがある。
- 回避方法 XAVC S エクスポーターの画質設定で標準、もしくは高速を選択する。

制限事項

最近使ったプロジェクトのリストが初期化される

- 現象 EDIUS 7.32 以前から EDIUS 7.40 以降へアップデートすると、最近使ったプロジェクトのリストが初期化される。
- *リストが初期化されるのは、アップデート後の初回起動時のみです。7.40 から 7.41 へアップデートした場合、この制限事項は適用されません。
- 回避方法 なし。